

広島県中小企業団体中央会 2017年4月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

4月の出荷量は前月比20.1%増加、前年同月比18.5%増加、売上高は前月比22.7%増加、前年同月比14.1%増加となった。

木材・木製品

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

平成29年3月の全国の住宅着工戸数は75,887戸で、前年同月比0.2%増加、また、季節調整済年率換算値では98.4万戸（前月比4.7%増加）となった。利用関係別では、持家は21,468戸で前年同月比3.6%減少、貸家は33,937戸で前年同月比11.0%増加、分譲住宅は19,727戸で前年同月比10.8%減少となった。なお、木造住宅の着工数は41,536戸で、前年同月比0.9%増加となった。

住宅着工の動向は、2月は前年同月比で8ヶ月振りの減少となったが、今月は再び増加となっており、引き続き、今後の動向をしっかりと注視する必要がある。

こうした全国の動きに対し、広島県内の3月の着工戸数は1,391戸で前年同月比13.6%減少、このうち、持家は410戸で前年同月比8.7%の減少、貸家は521戸で前年比24.7%減少、分譲は460戸で前年比1.9%の減少となった。県全体の住宅着工の動向は、昨年の消費税増税延期後の低金利の追い風による堅調な動きから減少傾向に転じ、厳しい経営環境にあるが、地域別では広島市が着工戸数597戸で22.5%減少、東広島市が203戸で3.8%減少、呉市が35戸で25.5%減少、廿日市市が32戸で37.3%減少となった一方で、福山市は328戸で53.3%増加と、地域間でばらつきが見られ、会員の業態や規模によっても売上や収益等に偏りがある聞き取り結果となっており、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

福山木材協同組合

前月比減少、前年同月比増加となった。夏頃から忙しくなる予想である。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

廃業、合併により組合員が減少した。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

日銀による景況感は、やや好況と発表され、有効求人倍率も高いが、実感としては、あまり好調とは言えない。特に国内における自動車販売及び生産台数は微減を続けており、製品価格も非常に厳しい。ここに来て、アメリカ大統領にトランプ氏が就任し、その政策が日本経済に悪影響を与え始める可能性も高く、為替も乱高下しそうで、今後2017年度の経済状況に対し、大きな不安を感じている。加えて、ヨーロッパにおける英国のEU離脱問題も世界経済に影響を与えると考えている。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

売上は、全体的に各社横ばいの傾向にある。自動車関連も横ばい傾向にある。

原油市況の値上がりを背景に、今後の樹脂の値上げが懸念される。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

29年4月 3,206m³ (対前年4.7%増加)

29年3月 3,698m³

28年4月 3,060m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

軋鉄鋼協同組合連合会

電気の使用量が落ちており、設備操業度が悪化していることが伺える。要因は複数あると思われるが、上半期は受注量も減少しており、厳しい状況が続くことが予想される。

一般機器

●一般機械器具

協同組合三菱広島協力会

広島県西部江波地区の航空機関係は出荷前の追い込みで協力会社各社の操業は高い。

観音地区の圧縮機及び製鉄機械の協力会社の操業は低い状態が続いている。

広島県東部機械金属工業協同組合

今月は年度初めて、納入台数が少なかったため、前月比30%減少、前年同月比変化なしとなった。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月の売上は輸出の受注が減少し前月比60%減少、新製品の売上により前年同月比108%増加となった。

最低賃金の上昇が経営を圧迫している。取引先に価格交渉をしているが、厳しい状況である。また、残業規制が厳しくなれば大いに経営を圧迫する。配偶者控除が150万円になれば、時間制限をして働いているパートタイマーが減少するため、人出不足の解消に繋がるのではないかと。雇用問題、賃金問題、残業規制など中小企業にとっては厳しい問題が多い。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

4月の国内自動車販売台数は全需が355千台、前年同月比9.2%増加と6ヶ月連続の前年超えとなった。登録車は前年比5.4%増加と9ヶ月連続の前年超え、軽自動車は16.5%増加と4ヶ月振りの前年超えとなった。

マツダ車は1.4%減少と2ヶ月振りの前年割れとなった。

アメリカの3月の全需は1,556千台で前年同月比1.6%減少と3ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同4.9%増加と3ヶ月連続の前年超えとなった。

欧州の3月の全需は2,096千台で、前年同月比8.6%増加と2ヶ月振りの前年超えとなった。マツダ車は同0.5%増加と8ヶ月振りの前年超えとなった。

中国の3月の全需は2,507千台で、前年同月比2.7%増加。マツダ車も同20.9%増加と2ヶ月連続の前年超えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の3月の海外販売合計台数は126千台、前年同月比6.3%増加と2ヶ月連続の前年超えとなった。

マツダの3月の輸出動向については、輸出台数は前年比22.4%増加と2ヶ月振りの前年超えとなった。

マツダの3月の国内生産台数は、前年同月比7.3%増加と2ヶ月振りの前年超えとなった。

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成29年4月の船舶建造許可実績は2隻104,500総トン（前月5隻220,900総トン、前年同月5隻373,600総トン）であった。なお、このうち1隻は貨物船で1隻が油槽船となっており、全て輸出船となっている。

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

前年度より仕事量が減少している。前月比は特に変化はない。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

平成28年度主要品目の対前年度比（推定値）

リビング・ダイニング 1%増加（全国平均0.1%増加）

ベッド 3%増加（全国平均0.3%増加）

箱物（TVボード、食器棚関係）4%減少（全国平均4%減少）

ベッドはやや減少傾向にあるが、前年比は増加している。リビングは比較的好調で同じく前年比増加。箱物は苦戦している、全体では若干前年実績を下回った。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

4月に商工センター内に「LECT（レクト）」がオープンした。大型店舗の出店は、地域の活性化に繋がるため、歓迎したい。一方、地区内中小企業者の景況感は依然横ばいで推移している。

「資材関連」においては、公共工事は若干減少傾向にあり、請負金額も減少傾向にある。

「食品」においては、概ね前年並みで推移している。

「繊維」においては、最高気温は上昇しても、朝晩の最低気温が低い日が多く、春夏物の売れ行きは低調である。3月に組合員衣料品卸業者の倒産が1件あった。

「雑貨」においては、4月に入り、紙製品関連商品が値上げとなった一方、コンビニ業界が生活雑貨の価格引き下げを行った。地方問屋にとってはマイナス要因である。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

市況に若干の陰りが見られ、売上にも多少の影響がある中、今年度も省エネへの対応に伴い照明市場では、非住宅において80%が未だ省エネに非対応の潜在的需要があると言われている。今後も補助金や税制優遇等を活用し省エネ化への提案をする必要がある。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

今月末で1社廃業した。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

売上は減少傾向にある。年度末で公共工事も少なく、新築住宅も畳み敷きよりフローリング敷が増えており、低調感は否めない。相場は横ばいのままである。

小売業

●各種商品小売業

チェーンリップチェーン商業協同組合（チェーンストア）

今月の売上は、前月比減少、前年同月比増加となった。前年同月比増加は、組合員以外の売上が若干増加したことが要因である。

4月より集金サイトを変更したため、資金繰りが悪化している。（青果の支払いは5日毎、組合員からの集金を10日毎に変更）

また、昨年は異常気象の影響で主力である青果物の相場が高騰。それに比べ、本年の単価はほぼ例年並みで店頭販売単価が下がっている。これが販売価格の悪化（売上の減少）を招いている。我々の店舗は地域密着型のため、以前は4月は「野菜の苗」がよく売れていた。しかし近年、こうした商品はホームセンターで買われるようになり、販売する店舗も減少している。

協同組合三次ショッピングセンター

競合店進出による売上減少が続いている。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

4月度の販売実績は前年同月比0.4%減少（音響商品4.4%減少、白物商品が3.6%増加）となった。商品別では、液晶テレビ前年同月比7.4%減少、冷蔵庫同10.4%減少、洗濯機同2.3%増加、IHクッキングヒーター同12.5%減少、エアコン同4.8%増加となった。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

売上は前月比減少、前年同月比増加となった。前月比減少は、季節的要因による灯油需要の減少によるものである。

石油製品の在庫は、地下タンクの容量が最大値であり、基本的に特質すべき変化はない。

原油価格は下降気味であるものの、小売への卸価格はそれに見合うだけの値下げになっていない。年間を通じて安値量販店の廉売行為はあるが、年度替わりの4月は特に多いようである。

仕入代金の支払いサイトは契約によって異なるが、翌月払いや翌々月払いとなっていると、灯油需要が激減するこれからは資金繰り悪化が懸念される。全国石油協会による経営実態調査によると、約3割の企業が営業赤字となっている。1店舗のみの運営企業では約35%が赤字である。

人を募集しても集まらない状況が続いている。労働環境の改善が出来ない。

災害時における緊急車両への優先給油等の協定を広島県や広島市、地方整備局と締結しているが、官公需への配慮がない。中小企業者に関する国等の契約の基本方針が毎年閣議決定され、各省庁及び都道府県に対し、国等の基本方針に準じた措置を講じるよう要請している。しかし一方で、入札は価格重視である。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

4月に家族葬・親族葬向け小型葬祭場がオープンし、当組合へ加入。6月には郵便局が移転開設予定であり、こちらも組合へ加入予定である。

賃貸住宅、小型マンション建設予定地で旧建物の解体工事が開始された。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比3.2%減少、前年同月比1.1%減少。車検場収入は前月比16.8%減少、前年同月比1.5%減少。重量税・登録印紙の売上は前月比31.7%減少、前年比1.0%の増加となっている。前月比減少は、毎年の季節的要因である。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

大型ショッピングセンター（LECT）のオープンに伴い、一部の企業は好調である。その影響もあり前月比、前年同月比共に増加となった。

工事全体における地元企業割合の確保等の取り決めに望む。

建設業

●工事業

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受注件数は、前月比3.9%増加、前年同月比44.7%増加となった。

今年度も昨年度に引き続き電気使用申し込みは低水準となっている。特に住宅の新規着工件数は、大都市圏に比べ、地方中核都市の多くが低迷しており、行政の一層の活性化対策が必要であると思われる。

太陽光発電など再生可能エネルギーも送電線網の問題で大幅な抑制がかかっており、大電力の設備は大きな影響を受け中小の新電力会社は撤退が進んでいる。今後は国レベルの早急な経済的規制緩和が必要であると思われる。

神辺建設業協同組合

新年度に入り、各自治体による公共案件の早期発注が期待されていたが、発注件数は各発注機関とも少なく、景気の鈍化を感じる。

5月連休明けからの発注案件に引き続き注視していきたい。

広島県室内装飾事業協同組合

今月は前月比50.8%減少、前年同月比58.1%増加となった。

県内西部東部問わず特に工事が集中する2、3月の繁忙期は人手不足が顕著である。しかし、その時期を過ぎると落ち着いてしまう状況は以前と変わらない。

国では、平成24年から、法定福利費の確保による社会保険等未加入対策の強化を図っており、今年4月からは、未加入者は現場に入場させない等の措置を講じることとしている。工事費用に法定福利を明示した見積・請求の徹底について、今後も動向を注視していく。

運輸業

●道路貨物運送業

広島輸送ターミナル協同組合

年度初めということもあり、荷動きは若干鈍い状態である。人手不足の状態が続いている。

松永地区トラック事業協同組合

4月は3月末の反動もあり、売上高及び収益状況は前月比減少、前年同月比変化なしとなった。

GWを控え4月中旬以降は駆け込み需要を見込んでいたが、通常月と大きな変化はなかった。建設関係、土木関係、鉄鋼関連の輸送は依然として好調である。

大手宅配便業者の時間外労働に対する未払い賃金や運賃値上げが大きく報道されているが、中小零細運送業者は、運賃の値上げは歓迎するが、先行きが不安定な軽油価格が次第に上昇しており、収益を圧迫しているのが現状である。

協同組合尾道地区総合トラックセンター

年度初めということもあり、前半の荷動きは鈍く、中旬以降に若干動きが見られた。

鉄鋼、鋼材関連の輸送は、地場産業（製造業）の陰りが見られ、関連企業からの出荷量が減少している。

原油、軽油価格は石油市場の端境期の季節要因等もあって横ばいに推移し、今後も現状で推移するとみられている。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

4月は、公的評価（固定資産標準値評価）報酬の入金があったため、前月比、前年同月比ともに売上高、収益状況、資金繰り等が好転している。